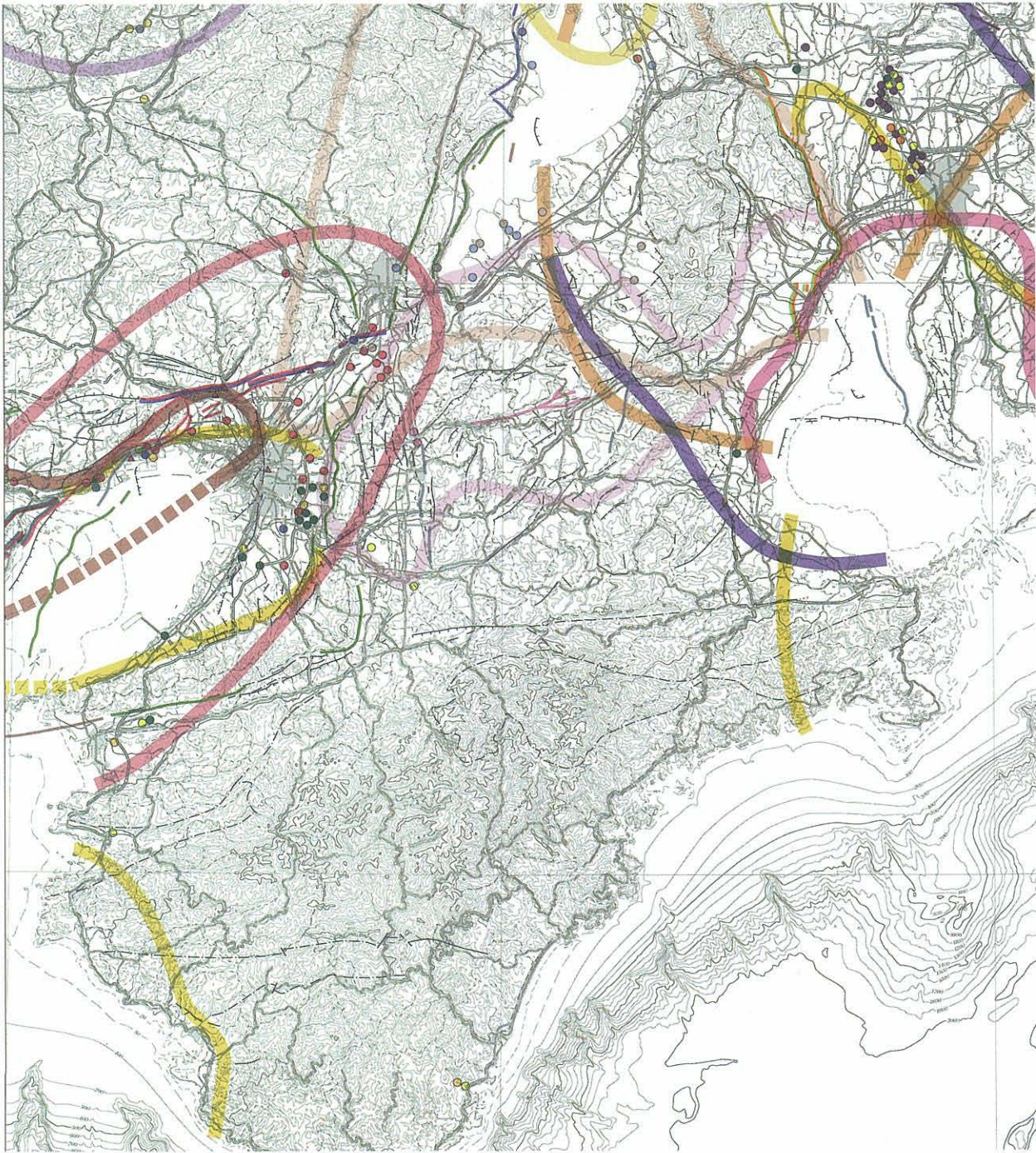


## 50万分の1活構造図「京都」(第2版)古地震データ図



この図では、それぞれの活断層が、活断層の履歴調査の成果に基づいて、活動した年代毎に色分けされている。また、液状化現象や地割れなどの痕跡を検出した遺跡も、地震痕跡の年代毎に色分けされている。さらに、中世以降の顕著な地震については、古文書の被害記録から推定された強い地震動の範囲が図示されている。このため、最近千年間に関しては「活断層が活動して大地震をおこし、周辺に地変が生じて被害を受けた」様子を、それぞれの地震毎に把握することができる。このほか、南海トラフに震源をもつ南海地震や東海地震についても、過去の震度分布や液状化跡の発見された位置が示されている。

＜寒川 旭・佐竹健治・関口春子・水野清秀・杉山雄一＞